



うぐいす

TAKE FREE
ご自由に
お持ちください

新年度を迎えて

千厩病院長 吉田 徹



千厩病院の正面花壇や中庭の花も色付き始めました。桜の開花も間近に迫り、千厩にも本格的な春がやって参りました。今年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

年度が変わり、千厩病院の医局メンバーも大きく代わりました。泌尿器の科長が瀬尾崇先生に、総合診療科に山下晋平先生、手塚雄太先生のお二人が、また外科には斉藤匠先生が加わり、医局の平均年齢は、若返りました。5月からは県立中央病院の二年次研修医も加わりさらにパワーアップする予定です。院内各部門にも新しい病院スタッフが加入しました。リハビリ部門には佐々木和也技師長、薬剤科には鈴木茂薬局長を迎えた新体制でスタートを切っております。昨年度、千厩病院には回復リハビリ病棟が新設され、県南の各急性期病院からのご紹介を頂き、お陰さまで順調に機能しております。2月に受審した病院機能評価では高い評価を受けましたし、2年後に予定されている電子カルテ導入に向けてのステップも確実に進んでおり、この一年で千厩病院は一回り大きく進化致しました。

今年度は、回復リハビリ部門の機能をさらに強化し、医療情報や院内情報の共有化の手段としての電子化を進めていく予定です。機能訓練室の改修工事も年度末に終了し、地域連携室の機能も充実してきましたので、より質の高いリハビリテーションを提供して、迅速な在宅復帰へのお手伝いを進めていけるものと思っています。

病院機能の明確化は、国の方針として今後さらに求められてきます。当院の立ち位置は、この地域の高齢者医療への対応に加えて、回復リハビリ部門に代表される急性期病院から在宅への架け橋役になると思います。今後、近隣の県立磐井病院や気仙沼病院などの急性期病院との連携に加えて、4月から入院機能が復活する大東病院との連携をさらに強化し、東磐井地区の医療が地域完結型として機能しますように努力して参ります。

「地域完結医療」の展開にあたり、それぞれの地域では不便を感じる場面も場合によってはあるかもしれませんが、限られた医療資源を最大限に有効に活用するためには住民の皆様の理解とご協力が必須です。今年度は、昨年に増して地域の方々との距離を縮めていきたいと思ひます。住民の皆様には、これまでどおりボランティアなどの立場などから病院スタッフの仲間として参加して頂く事はもちろんですが、病院に通院されている患者さんやご家族からも、多くのご意見やご要望を頂き、対話を進める中で、これまで以上に千厩病院をご理解頂き、当地域に即した「地域完結型医療」を構築し、展開していきたいと思ひます。

今年度も地域の皆様に信頼され、頼られる千厩病院を目指して、少しずつ進化して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



平成25年度第2回 千厩病院地域医療懇談会

前日までこの季節としては暖かい日が続いていた千厩町でしたが、千厩病院地域医療懇談会当日の平成26年2月5日水曜日は、陽の光に恵まれたものの本来の真冬の寒さが戻った1日となりました。一関市役所千厩支所で午後2時から始まった当懇談会は、席が不足するほどの盛況ぶりで椅子を10席ほど追加して最終的に51人の市民が参加されました。

昨年度は、当懇談会開催について市民への周知期間が足りなかったことや開催日がひな祭り重なったことなどの反省から、今年度は十分な周知期間と開催日を吟味したことが参加者増加の要因と言えます。

今回の地域医療懇談会は、病院側から一方的に情報を提供するという従来の進め方から、「地域の医療、介護、福祉の連携について」というテーマで、医療機関、福祉施設、市民、千厩病院リハビリテーション科の代表者からそれぞれの立場で現状や課題をスピーチしていただき、ディスカッションするといういわゆるパネルディスカッション方式を採用しました。参加者は、医療機関以外の活動を知ることができ、興味深げに聞き入る様子がうかがわれました。

また、パネルディスカッションに先立ち、吉田院長から千厩病院の今後の運営についてプレゼンテーションを行い、ボランティア団体「朝顔のたね」から病院を上手に利用する方法についての寸劇を披露していただき、硬軟織り交ぜた進行も参加者の満足度を高めたものと考えております。

そして最後の会場からの質問・意見等では、2名の方から「開業医による在宅の運営について」、「県立病院の運営協議会等について」質問があり、県議会議員2名の講評でも高い評価をいただき、活発で有意義な懇談会となりました。

事務局長 高橋 浩



～出前講演を実施しています～

当院では、地域の皆様方との関わりを大切にするため、医療のことや健康のことの知識や意識を高めていただくよう、職員を講師として派遣しています。



平成26年2月7日(金)に行われた「一関地区保護司会東分区と更生保護女性の会合同研修会」で当院職員により出前講演が開催されました。

14時から千厩マリアージュを会場に行われ約50名の参加がありました。門口友之主任作業療法士が「住環境 転倒予防チェック」、續木丈之理学療法士が「イキイキ動くための体づくり」と題して講演しました。参加した方からは『この会の出席者は前期や後期高齢者が多いので、今回のテーマは参考になり良かった。』『住環境について、危険箇所があることが分かり参考になったなどの感想が寄せられました。』

出前講演等のお問い合わせはホームページまたは電話53-2101(代) 医事経営課まで

千厩病院ホームページアドレス

<http://www.senmaya-hospital.jp>

検索

カチ

災害訓練を実施

平成25年度第2回消防訓練が平成26年2月12日(水)に行われました。休日勤務時に大地震が発生したという想定でアクションカードを活用した職員の動きを確認するという災害訓練を実施しました。参集者を含め約95名の職員が参加しました。総務課にある防災盤前付近に災害対策本部が設置され、情報の収集や職員の参集など、また正面玄関にてトリアージが実施され、患者受け入れから入院までの流れや、各部署での動きを確認しました。訓練終了後参加した職員からアンケートを取り、反省・課題等、いざという時の対処の改善に努めていきたいと思えます。



糖尿病フットケア外来

平成23年度から「糖尿病フットケア外来」が当院に開設されました。

糖尿病の三大合併症とは、1、糖尿病性神経障害 2、糖尿病性網膜症 3、糖尿病性腎症です。高血糖を放置していると約三年で神経障害が現れます。治療を開始している方でも発症して十年経過すると何らかの合併症が始まっているといわれていますが、自覚症状が無いので合併症の始まりに気づいていない方が殆んどです。

そこで、合併症の早期発見と現在のご自分の状態を知り、長く健康で過ごしていただく為に専任の看護師が指導・ケアを行っています。

まず皮膚の状況を見て触圧覚、振動覚、腱反射での末梢神経障害と足背動脈、脛骨動脈、膝窩動脈の動脈蝕知等を調べます。フットチェックの後は足浴後爪切り、胼胝や鶏眼の処置を行いセルフケアや靴の選び方についての説明を行います。

開設以来の累計人数は約160名になり、自分で爪切りができず毎月来院される患者さんの他、軽度の神経障害やセルフケア状態の良い患者さんは1年に1度来院され、足の状態を検査しています。

糖尿病と言われて不安や心配な事のある方はもちろん、是非自分の足のチェックをしてみたいかどうか。



毎週水曜日
午前9:00~12:00
完全予約制

日本糖尿病療養指導士 主任看護師 小島れい子

★新ドクター紹介



瀬尾 崇

泌尿器科長
県立中部病院より着任



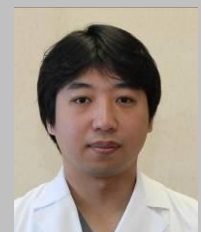
山下 晋平

総合診療科医師
兼大東病院内科医師
県立大船渡病院より着任



齋藤 匠

外科医師
兼大東病院外科医師
県立釜石病院より着任



手塚 雄太

総合診療科医師
県立中央病院より着任

どうぞ宜しくお願いいたします。

決定!

25年度 所属長表彰

平成25年度は次のとおり4部門(団体)が所属長表彰を受けました。

この表彰は、業務改善等により優秀な成果・業績をあげた各病院職員等をそれぞれの院長が表彰し、職員の意欲・満足度の向上に資することを目的として平成17年度から「医療局所属長職員表彰実施要領」で制定されたものです。

- 1、臨床検査科(代表 倉田一男臨床検査技師)
基幹病院以外では初めて輸血用血液製剤の一元管理に取組み、輸血療法の安全性向上と効率化を実現した。
- 2、回復期リハビリテーション病棟(代表 千田京子看護師長)
回復期リハビリテーション病棟の開設に当たり、リハビリテーションスタッフと看護スタッフが協力して、施設基準の要件に取組み、リハビリテーションスタッフにおいては、土・日曜日勤務の導入により治療効果の向上を図り、併せて、看護スタッフによる遊びりテーション(遊びを取り入れたリハビリテーション)を日曜日に行い、患者さんのADL維持、気分転換、情報交換の場として成果をあげた。
- 3、放射線オーダーリング部会(代表 岩城勝放射線技師長), リハビリテーションオーダーリング部会(代表 佐藤美智雄主任理学療法士)
電子カルテ導入に向けてフルオーダーリングを実現するため、放射線オーダーリング及びリハビリテーションオーダーリングの円滑な導入のため、それぞれ関係部門の職員で構成する部会を立ち上げ、より良いオーダーリングになるよう議論を重ね、関係部門の調整や業者との打合わせを経て、概ね円滑な導入を実現した。
- 4、事務局(代表 高橋浩事務局長)
掲示物の更新や案内板の設置など患者さんが分かりやすいように環境整備を行い、エアーマットレス収納棚や階段転倒防止用フラワーボックスなど病棟の美化と安全性、利便性向上に寄与した。またパソコン不具合を改修し必要箇所に配線することにより労働環境を改善した。

表彰式では吉田院長から当該4部門(団体)の各代表に表彰状と金一封が授与され表彰の主旨の説明と感謝の意及び今後の業務への期待等の言葉が述べられました。その後被表彰者の各代表がそれぞれ謝辞と熱い決意が述べられました。

表彰を受けられた各部門等の皆さん、大変おめでとうございます。今後の一層の飛躍・活躍の期待いたします。



臨床検査科のスタッフ



診療放射線科とリハビリテーション科のスタッフ



5階病棟看護師とリハビリテーション科のスタッフ



事務局のスタッフ

「すべての人びとに安らぎと希望を」



病院理念

復興と再生へ

~Together As ONE~



再生への願い【若草リボン】

岩手県立千厩病院

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番地1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

<http://www.senmya-hospital.jp> Email:EA1012@pref.iwate.jp

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会